

# 平成19年 ホッケ計量魚群探知機調査報告

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

- ・5月8～11日に仙法志堆海域（折込根・利尻根周辺）において、試験調査船北洋丸により計量魚群探知機調査を実施し、音響データを収集しました。
- ・水温は、折込根では8.1～8.8℃（30m～表面まで）、利尻根では7.2～8.7℃でした（50m～表面まで）。水温は昨年および一昨年と比べて、約1～2℃高くなっていました（図1）。
- ・計量魚群探知機によって推定されたホッケ以外の魚を含めた魚群の全体量は、折込根では昨年よりも大きく増加し、最近では最大の値でした。利尻根でも昨年および一昨年よりも高い値でした（図2）。
- ・利尻根・折込根それぞれで釣獲調査も行いました（表1）。釣獲調査は両根で竿3本を使い、2時間かけて行いました。釣れたホッケは、折込根で105個体、利尻根で44個体と過去3年間の中では最も多く釣れました。他には両根でハツメも多く釣れ、折込根で35個体、利尻根で49個体でした。
- ・体長は折込根では約25～30cmの大型、利尻根では約19～23cmの小型と両根で異なっていました（図3）。また、昨年および一昨年と比較して大型、小型ともに多く釣れました。しかし、主にまき網漁業の対象となる小型の割合が、まき網漁業が好漁だった時と比較して少ないことが懸念されます。
- ・水温が比較的高かったこと、推定された魚群量が昨年よりも増加したこと、ホッケの釣果も良かったことなどから、今年のこの時期の仙法志堆海域におけるホッケの分布量は近年では比較的多いと考えられます。しかし、小型の割合が少ないことから、水産試験場では今後も各漁場におけるホッケ漁の状況を注視していきます。

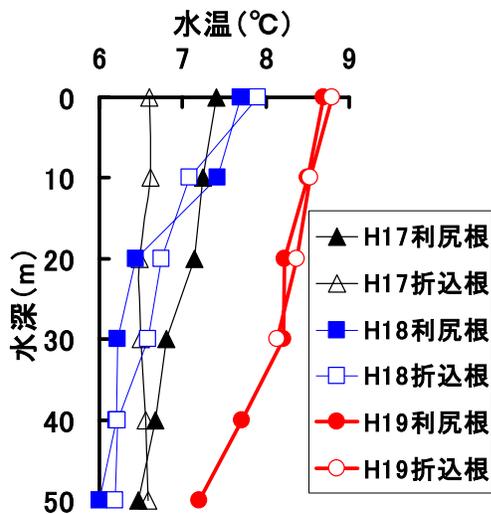


図1. 調査海域における水温

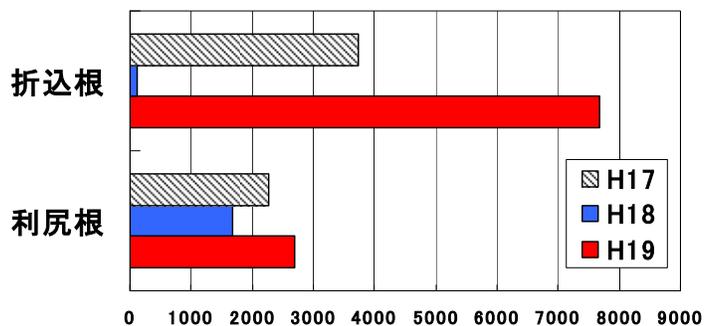


図2. 計量魚探で推定された魚群量

\* 魚群量指数: 魚の総量を魚探反応を基準にして表した数値です。

表1 釣りによって採集された魚種と個体数 (釣り時間:2時間、釣り人:3人)

魚種	折込根	利尻根
ホッケ	105	44
ハツメ	35	49
エゾメバル	2	4
キツネメバル	1	0
タヌキメバル	1	1
ヤナギノマイ	1	0
アカガヤ	1	0
ツマグロカジカ	1	0

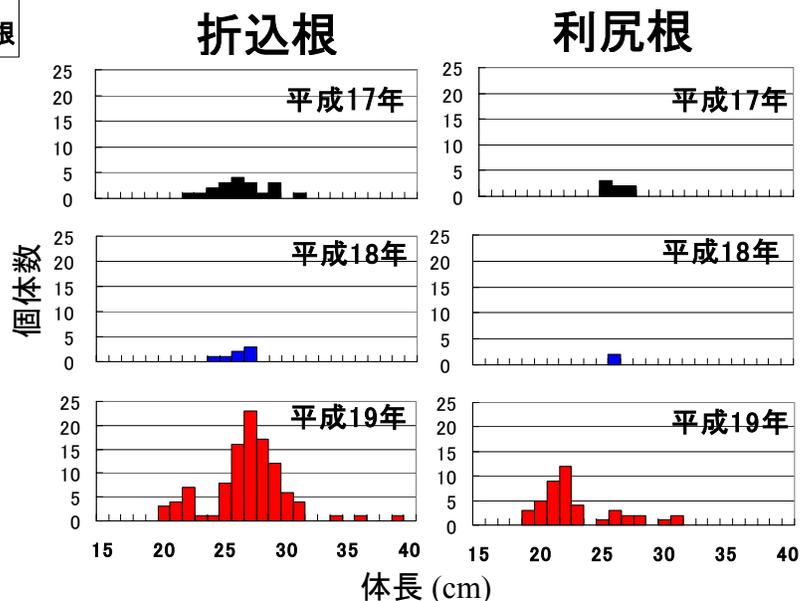


図3. 釣りによって採集されたホッケの体長